

砂浜を 歩いたお礼に ゴミ拾う

美ら島川柳最優秀賞

沖縄県と沖縄観光コンベンションビューローが8月の観光月間にて募集した美ら島川柳の最優秀賞に江藤さんの作品「砂浜を歩いたお礼にゴミ拾う」が選ばれ、9月27日に大田町長へ受賞報告しました。江藤さんは福岡県出身で、内地では花粉症にひどく悩まされていたが、久米島へ移住し、裸足で砂浜や芝生を歩き、久米島の自然と触れ合う中で体の調子が良くなったそうです。その感謝の思いを川柳に込めたと話しました。また、自身の経験を妊活中の方や妊婦さんにも久米島パワーを教えたいという思いから「裸足で歩くアーシングウォークとゴミ拾い」を企画し、30日明け方朝日を浴びながら実施いたしました。



まわりと違って大丈夫！

LGBT性の多様性を考える

LGBT（性的少数派の総称）は人口の約5%存在し、だれにも打ち明けられず苦しむ人がたくさんいると話すレインボーハートプロジェクトokinawa代表の竹内さんこと「きよちゃん」が久米島の小中学校・PTA連合会向けに講演会を開催し、性の多様性についてお話ししました。竹内さんもLGBTであり、自身の体験談から当事者の心情や、多様性を尊重した社会の取り組み事例を紹介し、児童たちは一人ひとりの良さや違いを認め、自分らしくを大切にすることを学びました。
きよちゃん電話相談は第4土曜日午前9時～正午
☎070-5491-3228（専用ダイヤル）



離島行政を学ぶin久米島

沖縄国際大学前津ゼミ学生と意見交流会

沖縄国際大学法学部地域行政学科の前津ゼミを受講する学生ら17名が、9月30日に離島行政の現状と課題の調査として久米島町役場を訪れました。学生達は久米島町の人口減少や、観光・経済振興、久米島高校離島留学生受け入れについて質問し、大田町長ならびに町職員、地域おこし協力隊と意見交換を行い、久米島町の現状と課題、課題対策に向けた取り組みについて学びました。初めて久米島に来た学生も多く、飛行機からみた海と緑の自然豊かな景色に感動したと話し、意見交換の中でも話があった観光客リピーター率について身をもって体験したそうです。



満月の夜に勇壮な舞

兼城獅子舞・兼城十五夜村あしび

旧暦8月15日にあたる9月13日、満月の月明りのもと、十五夜行事として兼城獅子舞が行われました。兼城獅子舞は200年以上の歴史を持つ伝統行事で、五穀豊穡と無病息災を祈り、獅子がドラや太鼓の音と、お面をつけたハチャブローに誘われて拝所や集落各地に現れ、舞回りました。獅子の勇壮な舞に多くの観客が魅了されました。翌日14日には兼城公民館にて兼城十五夜村あしびが行われ、三大伝統芸能（獅子舞・白瀬走川・しゅんどう）や民謡ライブ、子ども達のエイサーが披露され、大いに盛り上がりました。



久米島町敬老会

令和元年9月13日（金）久米島町敬老会を開催し、350名ほどの方にご参加いただきました。余興には“沖芸大琉球芸能専攻OB会”による舞踊の数々を堪能し、敬老の日を盛大にお祝いすることができました。

新百歳祝訪問



9月15日に今年、新百歳を迎えられる（字儀間）宮平貞様の自宅へ町長が慶祝訪問を行いました。



私達が久米島の振興を提案します！

玉川大学フィールドワーク発表会

9月17日、仲里庁舎にて東京都町田市にある玉川大学の観光学部学生によるフィールドワーク発表会が行われました。学生達は地域創生学習の一環で久米島を訪れ、3日間企業や民泊関係者、島ぐらしコンシェルジュなどを訪れ聞き込みや、島での生活を体験し、「観光」「移住定住」「教育」の観点で若者目線で考える久米島の地域振興について発表し、参加者は学生達の町民への負担がなく持続可能を意識した提案に耳を傾けました。
学生からは、久米島を調べている内に自分たちが久米島のファンになったと感想を述べていました。



ご協力いただきました関係者のみなさま
ありがとうございました

琉球古武術中興の祖 平信賢先生（字真謝出身）顕彰 琉球古武術・空手術演武大会

11月17日、琉球古武術保存振興会主催の第6回琉球古武術・空手術演武大会が開催されます。本大会は琉球古武術保存振興会の創立80周年記念にあたる国際的な大きな大会で、日本を含めて17カ国、およそ270名の方が久米島町に来島します。入場自由ですのでぜひ見学にお越しください。

日時／11月17日（日）午後1時～5時
場所／久米島ホテルドーム
内容／琉球古武術型と組手の演武、各国空手各流派演武、琉神と球美若獅子太鼓による演舞
入場無料
ただし、撮影禁止